

新書本から広がる図書の世界

～ウェブサイト 「新書マップ」を 使ってみよう!～

<http://shinshomap.info/search.php>

小関 康幸

新書本はコンパクトで、学術から趣味・娯楽まで多彩なラインナップを誇ります。1冊読み終えて、さらに別の本を、と触発されることもあるでしょう。そんなときに、遊び感覚で検索ができる、便利なウェブサイトを紹介します。

「新書マップ」とは

「新書マップ」は、ことばや文章で検索すると、あたかも人間のように「連想する」機能を働かせます。そして、入手しやすい新書や選書を対象に、現代的なテーマ約1000のうちから、知りたいテーマに関連する図書のリストや各図書の概要、目次などを提供してくれます。

「新書マップ」で図書を探す

検索画面の左上にあるボックスに、例えば「四季の移ろい」と入れて検索してみましょう（写真1）。円の外側にあるのは「関連キーワード」で、ここから選んで再検索を行なうこともできます。円の内側にあるのが「関連テーマ」。短歌の世界、京都の魅力、都市を考える、バッハなどなど10のテーマがありますね。試しにバッハをクリックしましょう!

関連図書の背表紙を並べた画像が出てきます（写真2）。その右の新書リストでは、書名をクリックすると、詳しいデータなどがわかります。バッハが四季の関連テーマに挙がったのはなぜだろう

などと考えることも楽しいですね。

もっと活用!

バッハのほかにも、いくつかのテーマを調べたくなるかもしれません。それらの検索結果をためておいて、あとでゆつくり見られたらいいですね。

それができるのです!例えば、円の中にある「バッハ」の箇所をクリックしたまま「長押し」すると、その傍に小さなボックスが表示されます。一番下にあるMY書棚にマウスをすうつとドラッグすれば、作業は完了です。バッハに限らず、これだと思うテーマについて、同様の操作をしておく、最大12までのテーマを後でゆつ

り見ることがができます。これも嬉しい機能です。

新書の世界だけにとどまらず

MY書棚にためたテーマを見ていくには、写真1にある「履歴/MY書棚」から「MY書棚」を開きます（左フレームの「関連リスト」の右隣り）。テーマの一覧が出てきて、各行の右に三角印があります。それを1つ選ぶと、写真2に相当する画面に変わります。じっくり見ていきますね。

しかし、その1番右にある「新書マップ・テーマ」を使うと、さらなる検索のステップへと進めるのです。テーマを1つ選び、その列の上にある「Imagine」をクリックすると、別の画面が開き、「新書マップ」にある関連図書や、「Webcat Plus」（国立情報学研究所が提供する日本語図書と日本語十英語図書のデータベース）のリストなどが現れます。ここまで来ると、新書本に限らず、探せる図書がぐんと広がるのです。このサイトは、実は図書の奥深い領域まで調べられる構造になっていることがわかりますね。

本好きの方に、お勧めします!

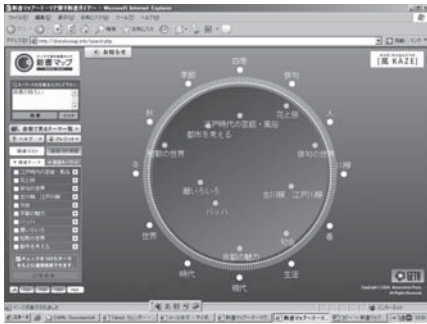


写真1



写真2